

最優秀賞 静岡県知事賞

富士箱根伊豆国立公園 田貫湖富岳テラス (富士宮市)



受賞者

景域計画株式会社  
関東地方環境事務所



アクセス

新東名「新富士IC」から車で約35分  
(西富士道路、国道139号を經由し、  
上井出ICから車で約12分)

所在地

富士宮市佐折地内

Photo by Ryo Yahara

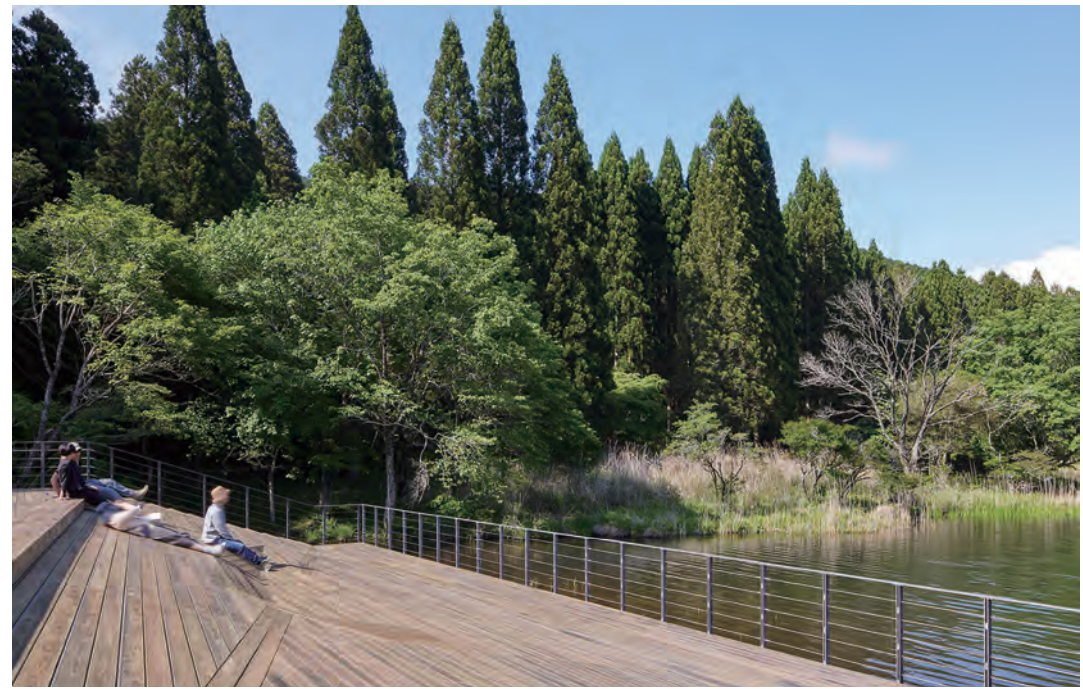


Photo by Ryo Yahara

田貫湖富岳テラスは、環境省が再整備した富士箱根伊豆国立公園の田貫湖畔（富士宮市）に位置する富士山を望むための展望テラスであり、ここからは富士山山頂に太陽が昇る瞬間、ダイヤモンドのように輝く「ダイヤモンド富士」や田貫湖に映り込む「逆さ富士」を真正面から望むことができます。コロナ禍の後、インバウンドの本格的な回復に向け、わが国を代表するこの優れた眺望地点のさらなる磨き上げが求められていました。これらの背景から、眺望地点から富士山や田貫湖畔などの周辺の環境をより体感として感じる事ができる展望テラスを目指しました。

具体的には、展望テラスの角度を撤去前の既存展望デッキより4°北側にすることで真正面に富士山山頂を望むようにしました。また、湖面の体感を向上させ、「逆さ富士」の魅力がよりダイレクトに利用者に伝わるようにテラスの高さを既存施設より30cm下げました。これにより、富士山への眺望への満足度がより高まることを期待しました。展望テラスのデッキ材には、地場産の富士ヒノキの小節材を用い、雑味の無い上質な環境づくりを行い、これらを通じてよりきめ細やかで、すがすがしく、温かみのある場づくりを行いました。

### 審査委員より

ダイヤモンド富士と逆さ富士を望める最高の眺望地点に相応しい、洗練されたデザインとなっています。眺望の軸線を北側に4°ふって富士山山頂に合わせたり、テラスの高さを既存施設より30cm下げたりして、富士山への眺望に対し、細心の配慮をしている点も見逃せないポイントです。このテラス全体に対し、湖畔周辺景観との調和、ユニバーサルデザインへの配慮、適切な使用材料、優れたサイン計画と夜間景観の演出等、様々な諸点からみて、非常に優れた景観創出に成功しています。